

NTT東日本千葉グループ

CSR報告書 2013



房総の春

編集方針

本報告書は、持続可能な社会の実現をめざすNTT東日本千葉グループの社会、環境に関する取組みと実績を、お客さまをはじめとした、事業に関わるすべての皆様に報告するものです。

NTT東日本千葉グループは、「お客さまに選ばれ続ける会社を目指して」日々の活動を実践しています。

この活動をステークホルダーの皆さまにより解りやすくお伝えしたいと考えた構成としております。

■報告期間

2012年度（2012年4月1日～2013年3月31日）の活動報告を基本として、一部、2011以前または、2013年度の活動についても掲載しております。

■報告組織の範囲

原則として、NTT東日本千葉支店、NTT東日本一千葉、およびその他NTT東日本が出資し、関連するグループ会社としています。

■発行時期

2013年11月

（次回：2014年秋を予定しています。）

■参照ガイドライン

- ・環境省作成「環境報告ガイドライン（2012年版）」
- ・「NTTグループ環境会計ガイドライン2008年版」
- ・環境省作成「環境会計ガイドライン2005年版」
- ・GRI「サステナビリティ レポーティング ガイドライン3.1版」

■お問い合わせ先

株式会社NTT東日本一千葉

総務部CSR推進室

〒261-8501

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟

TEL:043-274-2786 FAX:043-274-4440

目 次

トップメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
報告組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
NTT東日本千葉グループのCSR・・・・・・・・	3
CSRマネジメント・・・・・・・・・・・・・・・・	4
コーポレートガバナンス・・・・・・・・・・	5
リスクマネジメント・・・・・・・・・・・・・	6
コンプライアンスの徹底・・・・・・・・・・	7
人権啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
■安心・安全なコミュニケーション	
災害対策の取り組み・・・・・・・・・・・・・	9
情報セキュリティの確保・・・・・・・・・・	13
■人と社会のコミュニケーション	
お客さま満足度（CS）向上・・・・・・・・	14
次世代につなぐ取り組み・・・・・・・・・・	15
技術力をつなぐ取り組み ～つなぐDNA～	17
■人と地球のコミュニケーション	
環境マネジメント・・・・・・・・・・・・・	18
環境負荷低減に向けた取り組み・・・・・・・・	20
環境貢献活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
■チームNTTのコミュニケーション	
地域社会への貢献・・・・・・・・・・・・・	23
働く社員の安全・健康増進・・・・・・・・	26
多様性の尊重に向けた取り組み・・・・・・・・	27
コミュニケーションツールのご紹介	28

※ 報告書の記述について

本報告書には過去と現在の事実だけではなく、発行時点における計画や将来の見通しを含んでおります。
これらは、記述した時点で入手できた情報に基づく仮定や判断も含んでおり、将来の活動内容や結果が掲載内容と異なる可能性があることを、ご了承ください。

お客様に選ばれ続ける会社を目指して、安心・安全で豊かな未来に貢献します

人と人、人と社会を「つなぐ」

情報通信市場においては、ブロードバンドサービス市場は成熟段階にうつるなか、サービスの競争の激化はもとより、モバイルブロードバンドサービスの高速化が進むなど、厳しい状況が続いております。

このような中、NTT東日本においては、2001年の「Fレッツ」提供開始以来、提供エリアの拡大や、サービスの高速化・低廉化やラインアップの充実など光の利用シーンの拡大に努め、このたび光ブロードバンドサービス「Fレッツ光」の契約数が2013年10月12日に1,000万を突破いたしました。



NTT東日本千葉管内においても、光アクセスの普及に向けご利用エリアの拡大を図り、現在では、ほぼ100%のエリアでご利用出来るように整備されました。昨年サービス提供した「思いっきり割り」や「にねん割」をはじめとする料金割引サービスと「Fレッツ光Wi-Fiアクセス」などの新サービスの拡充を図り、お客様サービス向上に努めてまいりました。

これらの取組みを通じ、千葉県内においても、まもなく100万ユーザに手が届くところにきました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

今後も、従来の光の利用促進に加え、地域コミュニティのWi-Fi化を促進し防災や観光などの情報発信、シニア層への利便性向上の取組み等地域の活性化に貢献していきたいと考えております。

また、東日本大震災という未曾有の経験を踏まえ、事業継続計画(BCP)の重要性が再認識されています。特に今年は、台風、竜巻、豪雨など自然災害が多発し、事業継続計画の対応力向上が社会的な要請となっています。NTT東日本千葉グループにおいても、今後の発生が想定される、首都直下地震をはじめとする大規模災害を視野にいれ、災害時にも強い通信インフラの構築に取組むなど、現場の社員一人ひとりの技術と経験を集結し、全力を尽くし取組んでまいります。

通信事業者にとって最も大切なのは、いついかなる時も通信を「つなぎ」続け「人と人を」、「人と社会を」つないでいくという大切な使命があるということを強く認識し、使命感を胸に日々の業務にまい進していきます。

思いっきり割 <https://flets.com/omoikiri/>
にねん割 <https://flets.com/ninenwari>
Fレッツ光Wi-Fiアクセス <https://flets.com/wifiaccess/>

「お客さまに選ばれ続ける会社」を目指して

企業が多様な事業活動を継続して進めていくためには、社会との信頼関係が大切であり、お客様にNTT東日本を選んでいただいたうえで利用し続けていただくことが非常に重要であります。社会の皆さまから信頼され続けるためには、コンプライアンスの確立、人権への配慮などは勿論のこと、お客様、マーケットの声に真摯に耳を傾け、誠実に事業活動を行うとともに、環境への配慮や情報管理の徹底をはじめとした、社会の皆さまと共生するための取組みを実践するなど、様々な社会的責任を果たし続けることが大切であると考えます。その期待にしっかりと応えることで、信頼関係をさらに強固なものとし、「お客さまに選ばれ続ける会社」を目指してまいります。

最後に、本報告書はNTT東日本千葉グループの環境・社会貢献活動をはじめとするCSRの取り組みをご紹介しますので、ご高覧いただければ幸いです。

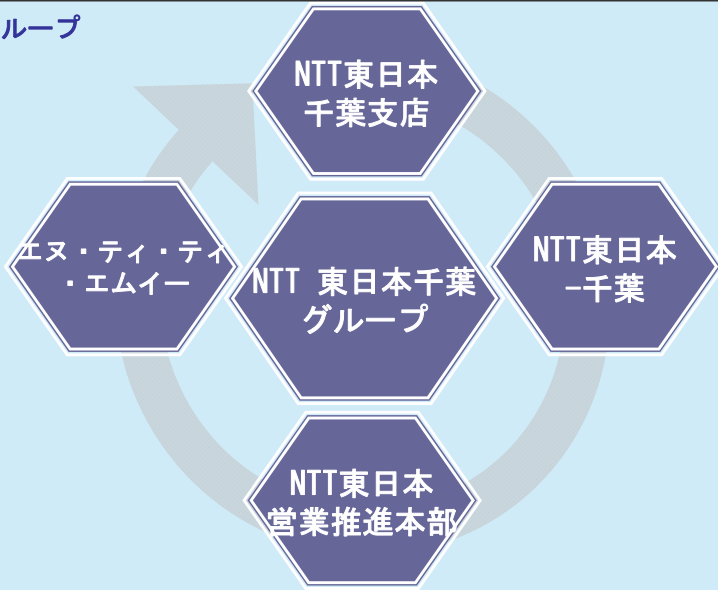
東日本電信電話株式会社
千葉支店

理事支店長

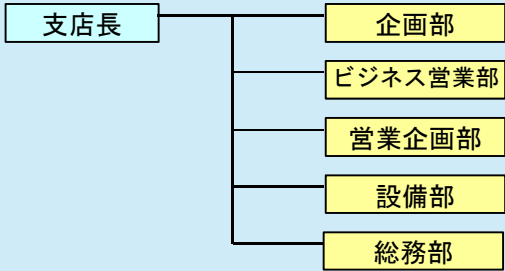
矢野 信二

報告組織の概要

NTT東日本千葉グループ



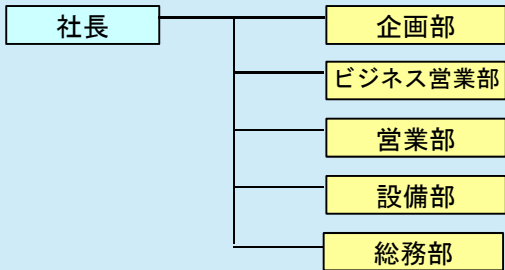
■NTT東日本千葉支店



ポジショニングとミッション

千葉県におけるサービス提供と収支についての責任を担い、県域会社の自主的・自立的な事業運営を支援すると共に、グループ会社間協業・連携を円滑かつ強固にする役割を果たす。

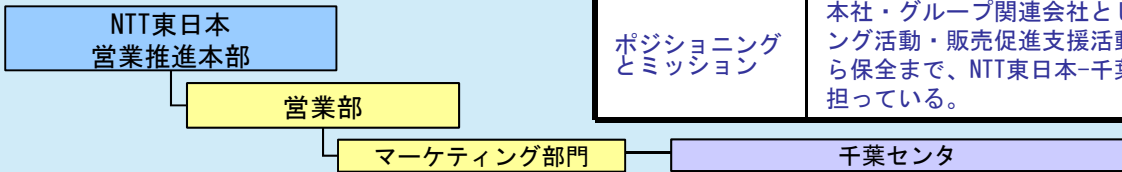
■NTT東日本-千葉



ポジショニングとミッション

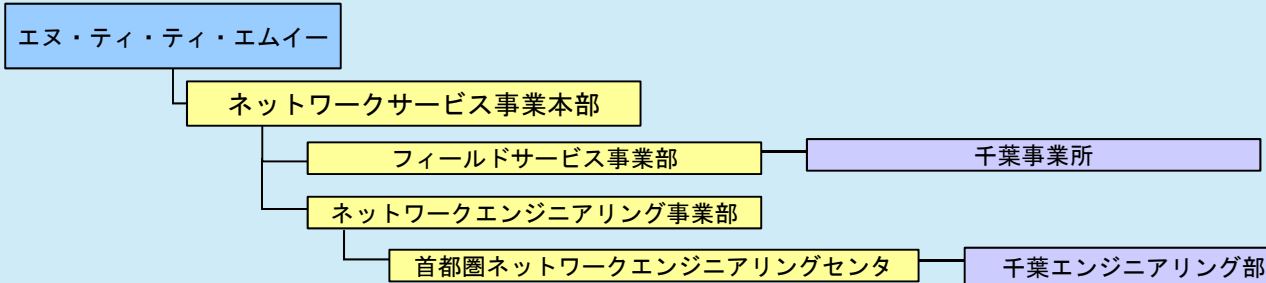
千葉県におけるNTT東日本グループの代表として、お客様に電話や光アクセスサービス等の様々な情報通信サービスの提供をすると共に、システムインテグレーションや、ブロードバンド周辺ビジネスの提案から設定工事、メンテナンスまでのサービスを幅広く提供する役割を果たす。

■NTT東日本千葉グループ関連組織



ポジショニングとミッション

本社・グループ関連会社として、マーケティング活動・販売促進支援活動や、設備設計から保全まで、NTT東日本-千葉を支える役割を担っている。



NTT千葉グループのCSR

NTT千葉グループは、NTTグループのCSR活動の基本理念「NTTグループCSR憲章」（2006年6月制定）の実践に向けて、「NTT東日本グループCSR行動基準」（2007年4月制定）、「NTT千葉グループ企業理念」（2005年7月制定）、および「NTT千葉グループ行動指針」（2005年7月制定）に基づき、社員一人ひとりが事業活動を通じてCSR活動に取り組んでいます。

NTTグループCSR憲章

●CSRメッセージ

私たちNTTグループは、情報通信産業の責任ある担い手として、最高のサービスと信頼を提供し、“コミュニケーション”を通じて、人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

●CSRテーマ

安心・安全なコミュニケーション

- ・私たちは、社会を支える生活を守る重要なインフラとして、災害時にも強い情報通信サービスの提供に努め、いつでも、どこでも、だれとでもつながる安心と信頼を提供します。
- ・私たちは、情報セキュリティの確保や通信の利用に関する社会的な課題に真摯に取り組み、安心・安全な利用環境と新しいコミュニケーション文化の創造・発展に尽くします。

人と地球のコミュニケーション

- ・私たちは、自らの環境負荷を低減し、地球にやさしいコミュニケーション環境を構築するとともに、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に取り組みます。

人と社会のコミュニケーション

- ・私たちは、より豊かで便利なコミュニケーション環境を実現するとともに、情報通信技術を活用し、人口減少、高齢化社会におけるさまざまな課題解決に貢献します。

チームNTTのコミュニケーション

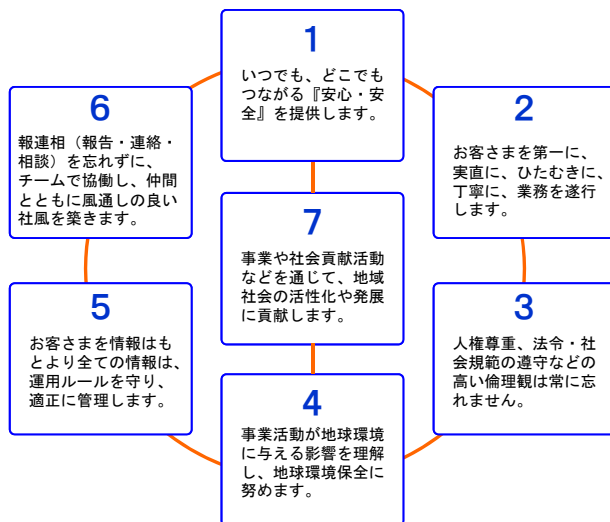
- ・私たちは、“チームNTT”として、高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組み、働きやすい職場環境の整備や個の成長・多様性の尊重に努めるとともに豊かな地域社会づくりを推進し、社会的使命を果たして行きます。

※ チームNTTは、派遣社員・契約社員も含めたNTTグループで働く社員、パートナーの皆さま、NTTグループのCSRに賛同する退職した方々で構成されています。

NTT東日本グループCSR行動基準

●CSRメッセージ

私たちは、情報通信サービスの提供を通じて、持続可能な社会の一員として信頼されつづけることを目指し、さまざまなニーズに的確に応え、安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。その実現に向け、一人ひとりが、「社会や環境との共生なくして企業の存続なし」と肝に銘じ、チームNTTの顔として、前向きに、そして自ら行動します。



NTT千葉グループ企業理念

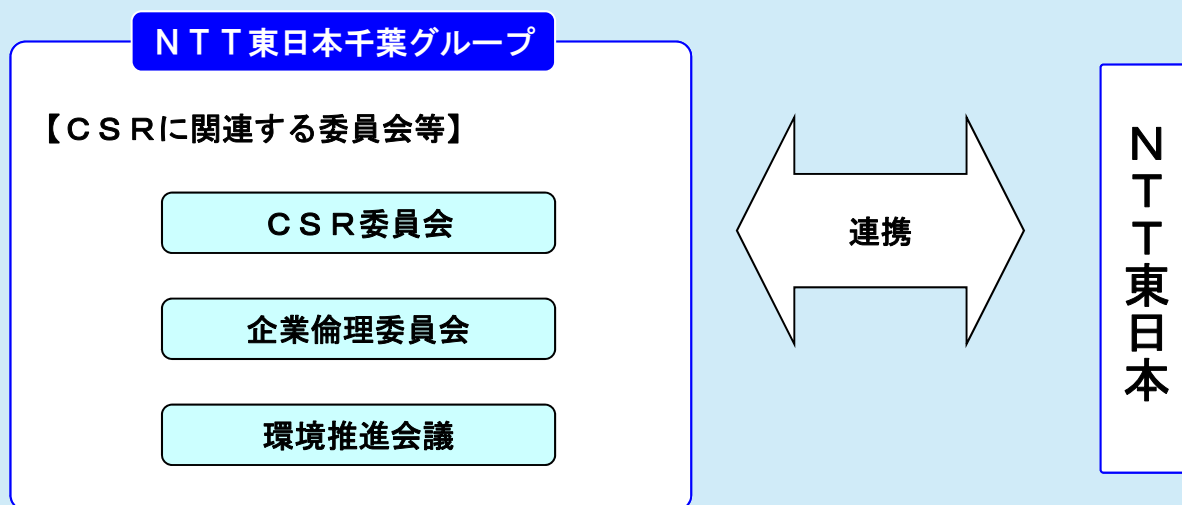
私たちは、常に未来に目を向けながら、最高の技術を持って、お客さま一人ひとりに最適なコミュニケーションサービスを提供することで、豊かな千葉の実現に向け貢献する企業であり続けます。

NTT千葉グループ行動指針

1. 総ての仕事はお客さまのため。一人ひとりが迅速、親切、丁寧に。
2. プロ意識を持ち、自ら考え、責任を持って行動しよう。
3. 成長しよう 会社と自分の未来のため。チャレンジしよう 自らの成長のため。
4. いますぐとりかかろう。創意工夫とフットワークで。
5. 社員の技術・知識・知恵をぶつけ合って、新たな価値の創造に挑戦しよう。
6. お客さまのプライバシーと会社の信用を守ろう。
財産である情報を扱う責任と自覚を胸に。

■CSR推進体制

NTT東日本千葉グループにおいては、「企業としての社会的責任を果たし、社会の持続的な発展に貢献していく」とのCSR経営の基本姿勢の下、「身近な総合ICT企業」としてお客様から選ばれ信頼され続ける企業経営をめざしています。そのため、CSR推進に向けたマネジメント体制を明確にし、NTT東日本千葉グループ全体のCSR活動の方針やテーマ設定、浸透施策を検討・決定するために千葉支店長／社長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、具体的な取り組みを展開しています。2012年度は2回の委員会を開催しました。



■東日本グループ行動指針

私たちは、情報通信サービスの提供を通じて、持続可能な社会の一員として信頼されつづけることを目指し、さまざまなニーズに的確に応え、安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。その実現に向け、一人ひとりが、「社会や環境との共生なくして企業の存続なし」と肝に銘じ、チームNTTの顔として、前向きに、そして自ら行動します。

- 1.いつでもどこでもつながる『安心・安全』を提供します。
- 2.お客さまを第一に、実直に、ひたむきに、丁寧に、業務を遂行します。
- 3.人権尊重、法令・社会規範の遵守などの高い倫理観は常に忘れません。
- 4.事業活動が地球環境に与える影響を理解し、地球環境保全に努めます。
- 5.お客さま情報はもとより全ての情報は、運用ルールを守り、適正に管理します。
- 6.報連相（報告・連絡・相談）を忘れずに、チームで協働し、仲間とともに風通しの良い社風を築きます。
- 7.事業や社会貢献活動などを通じて、地域社会の活性化や発展に貢献します。

■CSR推進に向けた取り組み

各委員会については、原則として半期に1回開催し、それぞれの年間計画の策定、取り組みの進捗状況のチェック、および現状をふまえた新たな取り組みなどを検討しています。

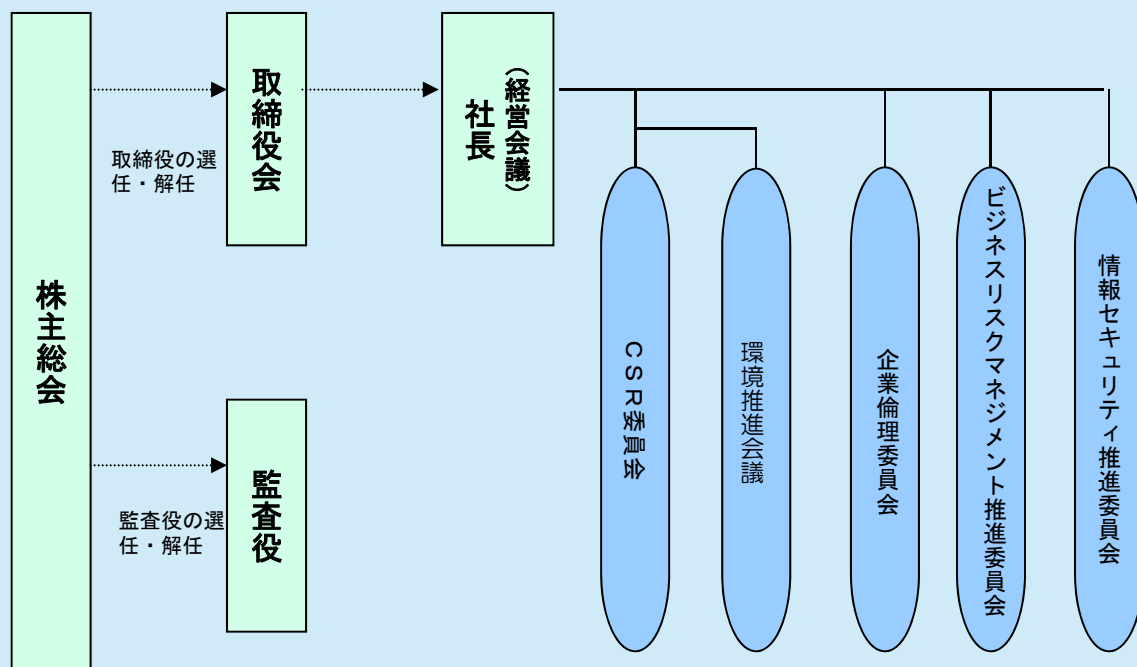
また、経営幹部への研修、階層別研修、およびすべての従業員を対象としたeラーニング研修の実施など、CSRに関する理解の促進や意識の向上に向けた取り組みを継続的に実施しています。



■取締役会の構成

株式会社NTT東日本-千葉は、NTT東日本100%出資子会社として、千葉県内におけるNTT東日本の電気通信設備等の構築、保守、管理等の受託業務等を実施しております。

NTT東日本-千葉は7名の取締役による取締役会を構成し、原則月1回取締役会を開催し、法令等に則り、会社経営の重要な業務執行の決定、ガバナンス体制の構築等を行っています。



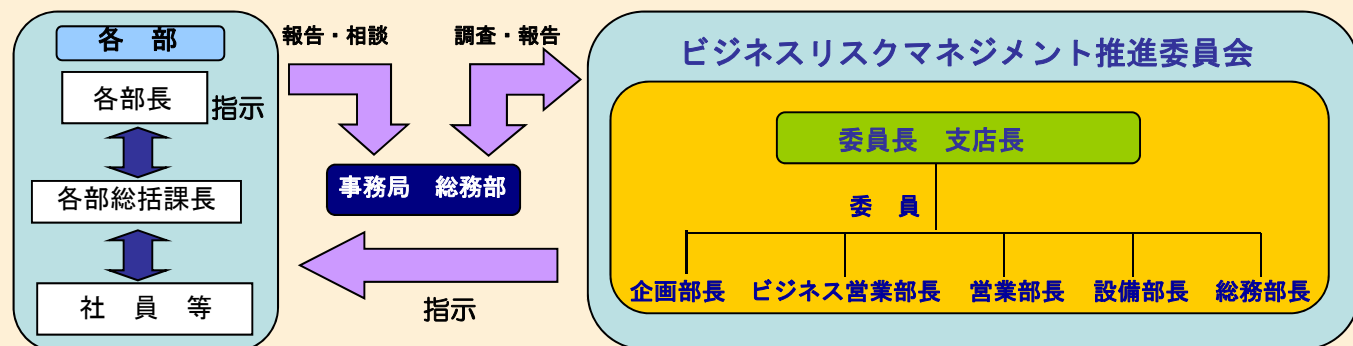
■業務監査室監査等

NTT東日本業務監査室により、毎年、リスク評価に基づき選定されたビジネスリスク軽減のための会計・契約監査およびコンプライアンスの徹底に向けた監査として会社法、SO法等に関する監査を実施しています。また、個人情報保護法および環境保全活動の推進状況等についても継続的に監査を実施しています。

リスクマネジメント

NTT東日本千葉グループでは、事業活動および社会に及ぼす影響を最小限に抑えるため、「ビジネスリスクマネジメント推進委員会」を設置し、有事の際の「行動力・対応力強化」及びビジネスリスクにおける「見える化」による危機意識の浸透を基本方針とし、社会機能の維持、重要通信確保等に向けて、業務毎に優先度を設けて事業継続に向けた取り組みを強化しております。

■ビジネスリスクマネジメント体制



■大規模災害に備えた取り組み

1. 大規模災害に備えた事業継続計画書（BCP）の改正
2. 安否登録の習熟に向けた取り組み強化
3. 帰宅困難者を想定した全有人ビルへの備蓄品配備
4. 大規模災害発生時における緊急給油体制の整備

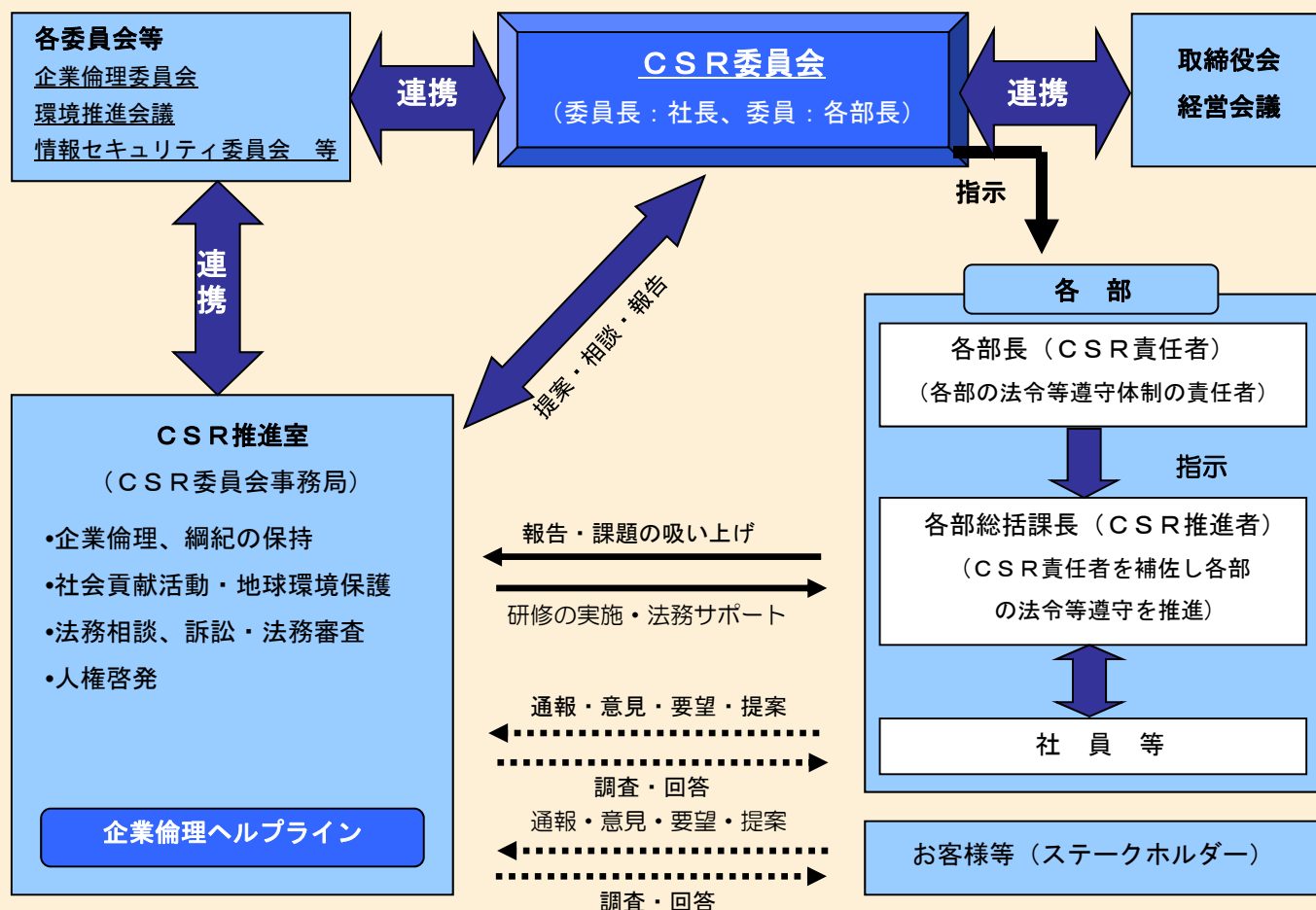
■リスク再演防止の取り組み

1. ビジネスリスク事例の社内共有・深化に向けた意識の浸透（マネージャーの意識醸成）
 - ・全管理者等を対象としたBRM研修及びキックオフ等における危機意識の共有
2. 多発事例の撲滅に向けた取り組み
 - （1）交通事故防止に向けた意識の向上と技術講習の充実
 - ・運転技能講習等の実施
 - ・交通事故未然防止に向けた取り組み⇒「ドライブドクターの導入」「運転前の安全再確認シール」の作成等
 - （2）社員証及び入館証等紛失防止に向けた取り組み（無くさない仕組みづくり）
社員証及び入館証等の携帯方法及び管理方法をルール化
3. 企業倫理ヘルプライン、各種監査の取り組み
 - （1）企業倫理ヘルプライン申告：4件、人権相談窓口：3件、一般相談：1件
 - （2）各種監査（業務監査室監査、監査役監査、模擬税務調査等）対応、一部継続対応事項を除き是正済み

コンプライアンスの徹底

■CSR委員会／企業倫理委員会

NTT東日本千葉グループでは、CSR推進に向けたマネジメント体制を確立し、CSR推進活動方針の検討及び決定、CSR活動状況の進捗管理、さらにステークホルダーの方々からの意見要望等に対する改善策の検討及び決定するために「CSR委員会」を設置しています。また、不正・不祥事の根絶に向けて、企業倫理の遵守に対する各取り組み等に関して審議するため「企業倫理委員会」を設置しています。



■CSR推進のための社員教育

NTT東日本千葉グループでは、企業倫理や人権をはじめとするCSRに関する理解と意識の醸成を図ることを目的に、階層別に各種研修を実施しています。

□2012年度実施の研修

研 修	内 容	対象者	受講人数
マネジメント層研修	・コンプライアンス・職場づくり ・人権啓発（セクハラ、パワハラ）等	担当部長、担当課長等	220名
社員研修	・CSRについて ・人権啓発について ・企業倫理・コンプライアンスについて等	主査等、社員	837名
eラーニング研修	①CSR・企業倫理、②情報セキュリティ、 ③法務・契約、広告審査の基礎、④公正競争遵守、⑤ダイバーシティ 等	全社員	—

■人権啓発活動

人権啓発活動の一環として、NTT東日本千葉グループにおける人権意識の高揚と人権に対する理解と認識を深めることを目的として、夏休み期間中の約1ヶ月半にわたり、社員（契約社員、派遣社員を含む）及び家族を対象に標語およびポスターを募集しました。

募集・応募の概況については、次のとおりです。

□ 募集期間：2012年7月17日（火）～8月31日（金）

□ 応募作品数：標語 3, 152点

ポスター 13点

優秀作品

□NTT東日本千葉グループ 優秀賞

あなたのちょっとした一言で、救われる人がいる。なにげない一言で傷つく人がいる。

村田 充枝（NTT東日本千葉 営業部）

受賞者のコメント

この度は賞を頂きありがとうございました。
言葉とはいかに重みのあることか。いつもやさしくありたいと思っています。

みんな違ってそれでいい 十人十色の すばらしさ

稲葉 三和子（NTT東日本千葉 営業部）

普段から会話をもてば気づくはず、子供が出してるSOS

鈴木 善博（NTT東日本千葉 設備部）

育てよう 相手を認めるやさしい眼 自分を見直す厳しい眼

平田 芳久（NTT東日本千葉 企画部）

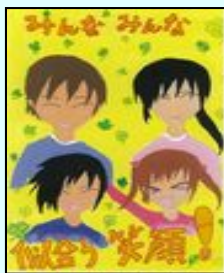
□NTT東日本千葉グループ 優秀賞



斎藤 大雅

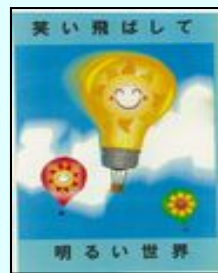
（NTT東日本千葉 ビジネス営業部 社員家族）

このたびは、賞をいただき、ありがとうございました。
人権という言葉の意味を、家族みんなで考えるよい時間になりました。
これからも、世界のみんなが仲良く暮らしていけたらいいと思います。（作者の母より）



小川 紗季

（NTT東日本千葉 ビジネス営業部 社員家族）



安心・安全なコミュニケーション

災害対策の取り組み

NTT東日本千葉グループは、情報通信サービスの早期復旧のため、大規模な災害を想定した訓練を実施し、平時からのたゆまぬ訓練を通じて「つなぐ」使命を全うしています。

■大規模災害・大規模故障を想定した実践的演習

2013年1月29日（火）、首都直下型地震（M7.3）が発生、交通網遮断による災害対策本部への駆付け困難を想定し、本部員は第2サテライト拠点へ駆付けを実施しました。また、NTT幕張ビルの災害対策室はライフライン寸断のため使用不可とし成田赤坂ビルを代替本部として立ち上げ、各拠点との情報連携の確認を検証しました。

具体的な検証内容については、次のとおりです。

- (1) 地震発生直後の「緊急呼出システム」による本部員へのサテライト拠点への駆付け指示ならび本部員への情報配付
- (2) 本社災害対策本部とのTV会議による情報収集
- (3) 各サテライト拠点及び災害対策代替本部の立上げ
- (4) 災害対策用NWを用いた情報連携の確認
- (5) テレビ会議システム／千葉災害対策Web等の情報装備機器の稼働確認
- (6) 災害対策本部員の危機意識の醸成



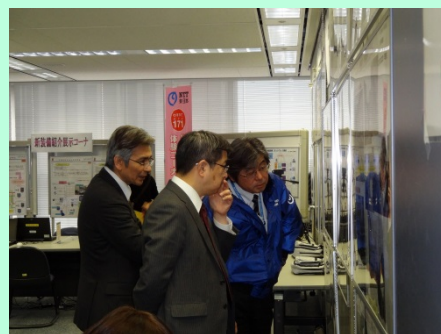
この他九都県市合同防災訓練など、さまざまな訓練を通じて、「つなぐ」使命を全うしていきたいと考えています。

■NTT東日本千葉グループ災対フェア《絆～つなぐDNA～In千葉》開催

2013年3月1日（金）、東日本大震災から2年を迎え、震災からの復興状況や大規模対策委員会での取り組み状況などを紹介し、今後想定される災害に備えたNTT東日本千葉グループの更なる防災意識の高揚を図ることを目的に開催しました。

●実施内容

- (1) 紹介
 - ・ 東日本大震災における千葉の復興状況や取組み状況と災害対策本部の活動状況
- (2) パネル展示
 - ・ 東日本大震災の被災模様、災対機器等
- (3) 災害対策機器展示
 - ・ 衛星携帯、スマートテレキャスタ等（屋内：災害対策室）
 - ・ 新ポータブル衛星、移動電源車、災対指揮車、レスキュー隊車両等（屋外展示場）
- (4) 災害用伝言ダイヤル171、災害用伝言板（Web171）利用体験
- (5) その他
 - ・ 非常食試食
 - ・ 災害対策室情報装備機器のデモンストレーション 等



安心・安全なコミュニケーション

災害対策の取り組み

■災害対策活動

2012年9月1日（日）に実施した九都県市合同防災訓練をはじめとする各市町村および自治体等の主催による防災訓練や防災フェアにおいて、災害対策機器等による臨時電話回線の構築や特設公衆電話の設置など、ライフライン応急復旧訓練に参加しました。



また、会場内啓発ブースに設置した「災害用伝言ダイヤル171」の利用体験コーナーにおいては、パンフレットを配布し使い方を説明するとともに、実際にこのサービスを体験していただき、災害時等における安否確認方法を広く知っていただきました。

■災害対策車両

①災害対策指揮支援車

災害対策における指示・命令系統の一元化を目的として、車両は被災地へ出動し、被災状況の映像等をNTT東日本千葉支店災害対策本部へ送付するとともに、災害対策本部からの指示を的確に現地へ伝達する役割を果たしています。

また、今年度から新たに配備された可搬形非常用衛星通信機器を搭載することにより非常時の特設公衆電話等を設置することも可能な多目的車両として使用することが出来ます。

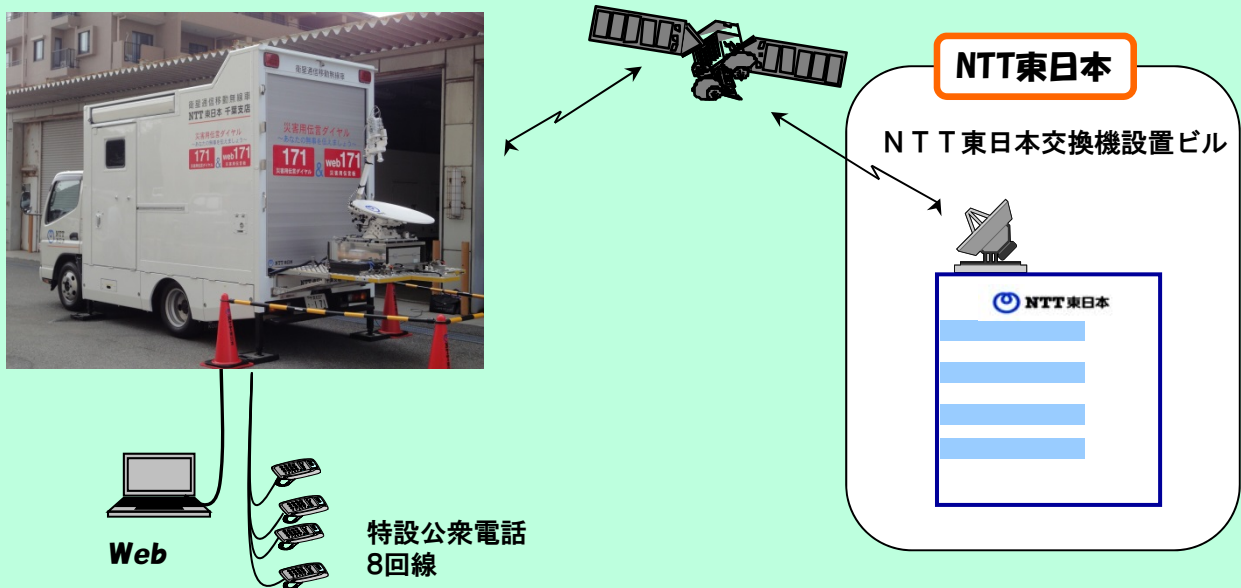


安心・安全なコミュニケーション

災害対策の取り組み

②衛星通信移動無線車

災害等により通信が途絶した場合は、被災地に出動し通信衛星（赤道上空36000Kmの静止衛星）を中継し基地局との間に回線を作成し、特設公衆電話及びインターネット接続環境を提供することが出来ます。



③移動電源車

発電機を搭載しており、災害等により電力の供給が途絶えた場合、現地交換センターへ出向き通信機器への電力の供給を行います。

交換センターの規模により150KvA、500KvA、1000Kvaの3種類が必要なため、合計8台をNTT東日本千葉支店は保有し、分散配備して、万が一に備え待機しています。



150KvA (5台保有)



500KvA (1台保有)



1000KvA (2台保有)

安心・安全なコミュニケーション

災害対策の取り組み

■通信レスキュー隊

NTT東日本千葉グループでは、1995年の阪神淡路大震災を教訓に、大規模災害等が発生した際、電気通信設備に関わる被災状況等の情報収集を行うとともに、社員等の安否確認や物資の搬送等を行うことを目的に、「通信レスキューバイク隊」を1996年に発足し、現在は「通信レスキュー隊」として、災害出動をはじめ多岐にわたり活動をしています。

災害現場で確実に任務を遂行するために、災害時を想定した現地調査出動訓練や不整地走行訓練、自動車教習所等の舗装路での技術向上訓練等を毎月実施する他、地域等の防災訓練に参画する等、災害時に備えた訓練に努めています。

また、近い将来想定される巨大地震等に備え、レスキュー隊の装備の見直しや指揮支援車の新規導入を図る等して、常に災害現場で求められるニーズに即応できるよう体制を整え取り組んでいます。

今後も災害時における確実な任務遂行を目指し、地域社会と連携した活動を展開していきます。

□参加した主な防災訓練等

- ・第33回九都県市合同防災訓練（千葉県会場、千葉市会場）
- ・夏休み親子防災展2012（国土交通省 船橋防災センタ）
- ・こどもの消防広場（市川市消防本部）
- ・旭市防災訓練
- ・我孫子市総合防災訓練
- ・習志野市総合防災訓練
- ・高等学校や一般ライダーへの安全運転指導

千葉県



千葉市



国交省



習志野市



□社員のコメント

NTT東日本ー千葉 設備部カスタマサービス部門 SOサービス担当
中沢 有恒

「安心を届けるために！」

大規模災害発生時に速やかに復旧しなければならないものの1つに「通信」があります。

ライフラインの復旧、食料の配布、輸送路の確保等全ては先ず現地の情報を集めてからでなくては
何もできません。ライフラインの通信も、それだけ重要な役割を担っています。

少しでも早く通信設備を復旧させ「無事だよ」の声を届けるため、私たちレスキュー隊は日々
訓練を重ね、災害時の出動に備えています。

安心・安全なコミュニケーション

情報セキュリティの確保

NTT東日本千葉グループでは、お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティの確保に向け、さまざまな取組みを行っています。

■情報セキュリティと個人情報保護に向けた推進体制

お客様情報・接続関連情報をはじめとした各種情報の保護・管理、適正利用のさらなる徹底・強化を図り、情報セキュリティ施策を推進するため、「情報セキュリティ推進室」を設置するとともに、情報セキュリティに関する基本方針、各種施策等を審議する「情報セキュリティ推進委員会」を設置し、千葉グループ全体で情報セキュリティ確保に向けた取組みを推進しています。

■情報セキュリティと個人情報保護に向けた各種施策

NTT東日本千葉グループでは、情報セキュリティに対する社会的要請を十分に認識し、お客様情報・接続関連情報保護をはじめとする各種情報について厳格かつ適正な取扱いを推進していくことが、公共性を有する電気通信事業者としての重要な社会的責務と考えております。

その責務を十分果たすとともに、安心・安全なサービスを提供し、皆様に信頼される企業であり続けるため、お客様情報・接続関連情報保護をはじめとする情報セキュリティ確保のために、以下の取組みを行っています。

- 全社的な情報セキュリティマネジメントの強化
 - ・情報セキュリティに関する行動指針の策定
 - ・社長を委員長とする情報セキュリティ推進委員会の定期開催
- 各種研修や意識啓発活動の実施
 - ・管理者等への研修会の実施
 - ・全社員（派遣社員等含む）への啓発・教育活動
 - ・全社員（派遣社員等含む）による自己点検・自主点検の実施
 - ・情報セキュリティに関する社外資格取得の推進
- セキュリティ対策状況の定期点検の実施
 - ・情報の取扱いの遵守状況の点検
 - ・重要なシステムへのアクセス権限、アクセスログの点検
- 委託会社及び人材派遣会社の管理強化
- システムセキュリティの強化
 - ・社内LAN端末からの会社情報等の書き出し制限
 - ・電子記憶媒体の利用制限
 - ・セキュリティゲート設置による入室制限
 - ・FAX誤送信防止のためのシステム導入
 - ・電子メール誤送信防止のためのシステム導入



セキュリティゲート

人と社会のコミュニケーション

お客さま満足度（CS）向上

NTT東日本千葉グループでは、「お客さまに選ばれ続ける企業」をめざし、お客さま満足度（CS）向上やサービス向上に向けたさまざまな取り組みを行っています。

■スマイル委員会

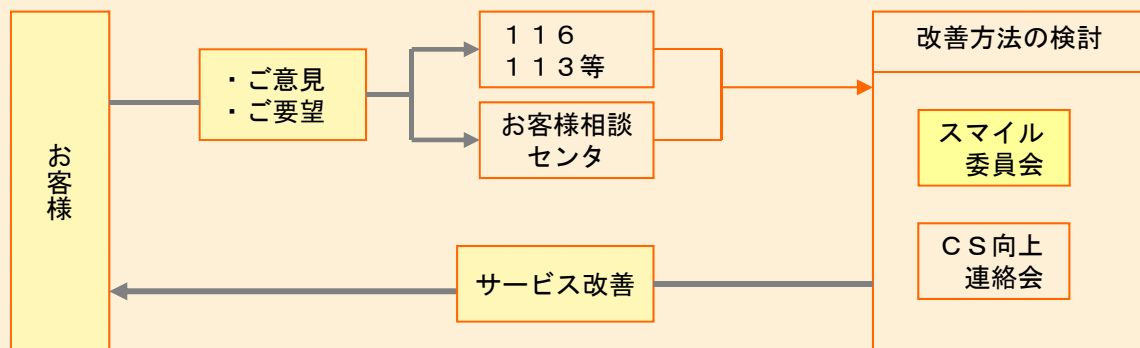
NTT東日本千葉グループでは、お客さまや社員から寄せられたさまざまなご意見・ご要望から事業活動の改善に活かしています。頂戴しましたご意見・ご要望については、「千葉スマイル委員会」にて審議し、NTT東日本千葉グループで改善施策を実施しています。また、NTT東日本の商品や、サービスに対する改善等の内容については、NTT東日本へ意見提起し、全社的な改善施策の検討を依頼しています。

<活動状況> 随時開催

■CS向上連絡会

NTT東日本千葉グループでは、TOPICS調査（お客様満足度の社内調査）の結果やNTT東日本お客様相談センタに寄せられた声を基にお客さま満足度（CS）向上を目的に「CS向上連絡会」を開催し各部門連携しサービス向上に努めています。

<活動状況> 10回



■CS（TOPICS）活動表彰の実施

お客さま目線に立った「親切的な対応」「わかりやすい説明」等に対する社員等のインセンティブを高めるとともに、NTT東日本千葉グループ全体のCS向上のため、NTT東日本千葉グループならびにパートナー企業における営業部門、コールセンタ、及び故障受付・修理部門等、日常的にお客さまと接している部署を対象に、お客さまへの電話調査結果に基づき、多くの「賞賛」の声をいただく等の優れた功績があった部門に対して「CS（TOPICS）活動表彰」を実施しています。

表彰は、上期・下期毎に実施し、2012年度は計13チャネルが表彰されました。



人と社会のコミュニケーション

次世代につなぐ取り組み

インターネットや携帯電話を使う子どもたちが増え、メールのやり取りなどに伴うトラブルが社会的な問題となっています。トラブルを未然に防ぐには、児童・生徒自身のコミュニケーションの仕方などメディアリテラシーの向上と、保護者・教職員による保護・教育が求められます。

NTT東日本千葉グループでは、このような社会的要請にお応えするために、次のような施策にスキルを有する社員を派遣し、インターネットを安心・安全に利用する啓発活動を実施しています。

■「ネット安全教室」による安全啓発

□主 催：NTT東日本千葉グループ

□対 象 者：小学生高学年

□主な内容：①メールを通じたコミュニケーション
②掲示板やゲームサイト、ネットで調べもの学習する時の注意点
③正しくつかいこなすことによるインターネットの利便性 等

□活動実績：4学校開催、433名受講

□その他：「e-ネットキャラバン」は、保護者及び教職員の方々を対象に、インターネット利用の安全啓発に取り組んでいます。



人と社会のコミュニケーション

次世代につなぐ取り組み

NTT東日本千葉グループは、次代を担う子どもたちとの交流を通して、心豊かなICT社会や未来づくりに取り組んでいます。

■「第63回 NTT児童画コンクール」

千葉県内の小学生の皆さんに、絵を描くことを通じて電話やインターネットなどの通信の世界を身近に感じていただくとともに、絵画学習や文化振興の活性化を支援することを目的に毎年開催しています。

本コンクールは、2012年で63回目の開催となりました。審査会では6名の審査委員が、表現技術や構図、色使いなどに優れた作品を選び、千葉県知事賞など特選12点、入選18点、佳作60点が選ばれました。

□募集要領

募集期間 2012年6月27日～9月26日

テーマ 「つなぐ、わたしの考える未来の電話・インターネット」
～こんな電話があったらいいな インターネットで、
こんなことができたらいいな～

□応募結果 応募校：364校／応募数：3,051点

□審査会 2012年10月3日（水）

□表彰式 2012年11月3日（土）

□作品展（入賞作品を展示）

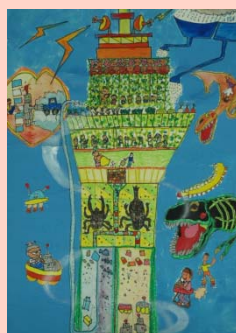
NTT東日本千葉支店 光HOUSE千葉（特選作品）

2012年11月21日～12月7日

千葉県青少年女性会館（特選・入選作品）

2012年11月7日～11月15日

【千葉県知事賞】



小川 稜翔 さん（旭市4年）
の作品
「みんなにやさしい未来」

【千葉県教育長賞】



今関 有 さん（茂原市2年）
の作品
「きょうりゅうとお話」

■「つながるおしごと見学会」

地域の子ども達が安心・安全に暮らせる社会貢献活動の一環として、2009年度より「つながるおしごと見学会」を開催しています。これまでに約1,500名の小学生と保護者の方々に参加いただきました。2012年度は、夏休み期間の7月26日、27日に69組160名が参加し、広まりつつあるネット犯罪の危険から子どもたちを守る「ネット安全教室」を開催するとともに、あわせて、東日本大震災に伴う防災意識の高まりを踏まえ、災害時におけるNTT東日本グループの復旧について学ぶ、「災害復旧シミュレーション」を中心として、小学校高学年と低学年にわけて内容を工夫し、理解を深めてもらいました。

□実施月日：2012年7月26日・27日の2日間

□参加者数：69組 160名 累計：643組1,512名

□実施場所：NTT幕張ビル



【社員のコメント】NTT東日本千葉 総務部CSR推進室 木島雅美

今年も、子どもたちの夏休み期間に合わせ開催、内容は昨年に引き続き「ネット安全教室」を実施するとともに「災害発生後の通信」をどのように確保するかを実演により紹介しました。

子どもたちは普段は目にする事のない災害車両等を見て触れて、笑顔いっぱいのイベントになりました。

これからもお客様に喜ばれ、よりNTT東日本グループの仕事を理解して頂けるよう高いモチベーションを持って、更に内容を充実していきたいと思ひます。



人と社会のコミュニケーション

技術力をつなぐ取り組み ～つなぐDNA～

NTT東日本千葉グループは、技術力向上と技術力を次代につなげるためにさまざまな取り組みを行っています。

■チバリンピック

設備保守業務におけるスキル向上、技術の継承を図り、お客様サービス向上につなげていくことを目的に、2007年より取り組みを開始し、今回で6回目となります。

●アクセス系光故障探索・修理競技会の部

日常業務の一環である「故障修理をどれだけ早く、正確に回復させるか」、「お客様に満足して頂ける対応ができていないか」などをチーム形式で競い合います。

●故障受付お客様対応競技会の部

故障受付における情報通信を取り巻く環境は、ブロードバンド・インターネットを利用するお客様が増え、ニーズの多様化・複合化が進んでいます。その多種多様なお問合せを「迅速・丁寧」な対応で「お客様に満足して頂ける対応ができていないか」などを競い合います。

●光通信工事技能競技会準優勝者によるエキジビション

全国のNTTグループの情報通信工事に関わる技術者の施工技術向上や業界全体の工事能力の向上を目的に開催されております。今回は、光通信工事技能競技会にて、準優勝された方の工事技術のエキジビションを行い、技術普及を図りました。

大会実施模様

□ 実施月日 : 2012年11月21日(水)

□ 実施場所 : NTT幕張ビル 25F

故障修理競技会模様



【社員のコメント】

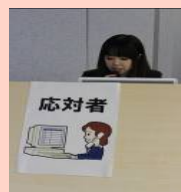
NTT東日本千葉 設備部アクセスサービス部門 木更津FS担当 伊藤 卓磨・加藤 正雄

故障修理をする中、ひとつひとつの作業工程のミスを無くし、安全面にも充分注意しながら、お客様向上に向け迅速な修理を行ってきました。今後も、自らの技術を磨きお客様に信頼されるよう頑張りたいと思います。

光アクセス工事エキジビション



故障受付対応模様



【社員のコメント】NTT東日本千葉 設備部カスタマサービス部門
千葉113サービス担当 関口 絵美

お客様の心情を理解することを最優先し、ご不便や怒りを受け止め、親身にお客様ひとりひとりに合わせた優しい対応を心がけていきます。

人と地球のコミュニケーション

環境マネジメント

「NTT東日本地球環境憲章」に基づき、NTT東日本千葉グループの活動、製品、サービスにかかわる地球環境保護及び管理活動に関する環境方針を定め、定めた適用範囲の中で環境保全、予防活動を継続的に推進しています。

■NTT東日本千葉支店グループ環境方針（2012.10.11 改訂）

基本理念

NTT東日本千葉支店グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つと認識し、自然環境の保全につとめ、環境に配慮した、よりよい企業活動を目指します。

基本方針

NTT東日本地球環境憲章」に従い、千葉県内において、新たな価値と可能性を持つ優れたICTサービスの提供を通し、千葉の豊かで貴重な自然を次代へつないでいくため、以下の方針に基づき環境マネジメントを推進します。

1. ICTサービス事業にかかわる環境側面を考慮し、以下のテーマを重点に取り組みます。
 - 1) 環境に配慮したシステムとICTサービスの提供による、お客様の資源・エネルギー消費等環境負荷低減への貢献
 - 2) 電気通信設備の設置の効率的運用による省エネルギーの推進
 - 3) 業務改善による環境負荷の低減
2. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善及び汚染の予防をはかります。
3. 国、地方自治体の環境規制及び当支店グループが受け入れたその他の要求事項を順守します。
4. 社員一人ひとりが、業務の内外によらず日常生活に伴って生じる環境負荷を認識し、自ら低減に向け行動できるよう、環境教育や意識啓発を行うとともに、地域の保護活動に積極的に参加し、地域社会に貢献します。
5. 全ての事業活動は、生物多様性と密接に関係していることを認識し、生物多様性を将来世代に引き継ぐための取組みを推進します。

■環境経営の3つの柱

NTT東日本グループは3つの柱を軸に環境経営を推進しています。1つめの柱は、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に貢献すること。2つめの柱は自らの事業活動に伴って発生する環境負荷の低減に努めること。3つめの柱は社員一人ひとりが業務の内外によらず日常生活に伴って生じる環境負荷の低減に努めることです。



人と地球のコミュニケーション

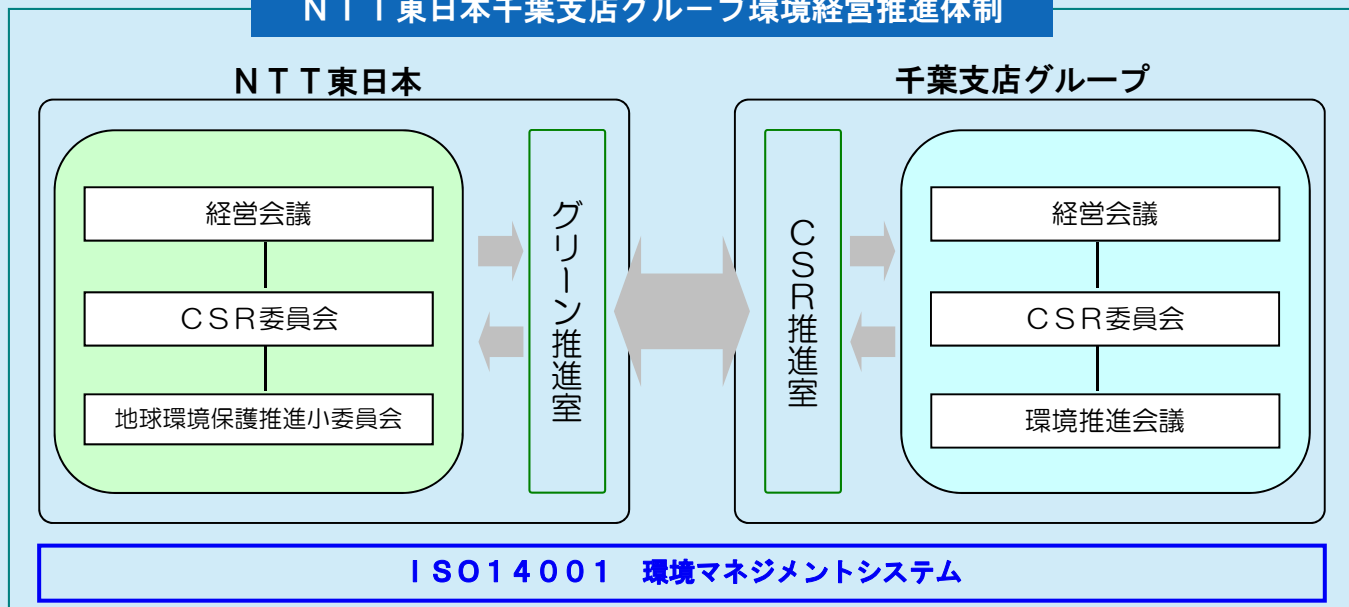
環境マネジメント

■NTT東日本千葉支店グループ環境経営推進体制

NTT東日本千葉支店グループは、環境負荷低減に向けた取り組みを推進するため、「環境推進会議」を設置し、「NTT東日本千葉支店グループ環境方針」の策定・見直しや環境負荷低減目標である「環境保護推進アクションプログラム」を策定し、継続的な改善を図っています。

また、「環境保護推進アクションプログラム」の取り組みについては、本社と連携を図りつつ、取り組みを進めています。

NTT東日本千葉支店グループ環境経営推進体制



■ISO14001 環境マネジメントシステム

法規制の遵守やCO2削減等の環境負荷低減に向け、ISO14001の認証を取得し、社員カバー率100%を達成しています。

運用については、全社目標に基づいた、共通目標を組織ごとに設定し、マネジメント水準の向上を図っています。

■社員教育

環境問題に対して社員一人ひとりが自ら考え、行動することを目標に全社員を対象として環境教育を実施しています。

環境教育にあたっては、①全社員向け研修、②核要員養成に向けた研修、③経営層向け研修に階層化して実施しています。



人と地球のコミュニケーション

環境負荷低減に向けた取り組み

NTT東日本千葉グループでは、環境負荷低減に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。

特に環境への影響が大きい要素に対する主要行動計画目標（基本プログラム）については、詳細プログラムとして実行すべき管理項目を細分化して、取り組みを進めています。詳細プログラムの一つひとつの確実な取り組みが全体目標の達成に結び付きます。

また、主要行動計画目標（基本プログラム）の他にもさまざまな環境負荷低減プログラムについて同様に取り組んでいます。

■主要行動計画目標（基本プログラム）と詳細プログラム

主要行動計画目標 (基本プログラム)		実行管理 項目	詳細プログラム	管理指標	2012年 度 実績	評価	2013年 度 目標
温暖化対策	2008－2012年度平均で、契約者あたりのCO ₂ 排出原単位を2000年度比15%以上削減する。	電力	TPR運動の推進	※1 CO ₂ 排出量	56,952 t - CO ₂	—	55,902 t - CO ₂
		ガス・燃料	ガス・燃料の使用量の節減（灯油・A重油、LPG、都市ガス）	CO ₂ 排出量	197 t - CO ₂	—	197 t - CO ₂
		業務用車両	自動車からのCO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量	1,335 t - CO ₂	—	1,335 t - CO ₂
紙資源対策	2013年度までに一人あたり紙使用枚数を4700枚以下にする。	事務用紙	事務用紙の使用量削減・環境に配慮した紙材料の使用	紙使用量	一人あたり紙使用枚数 6,330枚	—	一人あたり紙使用枚数4,700枚
廃棄物対策	2012年度より2020年度までオフィス内廃棄物最終処分率を2%以下とする。	オフィス内	オフィス内廃棄物の削減と適正処理	オフィス内廃棄物最終処分量	オフィス廃棄物の最終処分率 0.97%	—	オフィス廃棄物の最終処分率を前年度以下とする（前年度0.97%）

※ 電気購入量からCO₂への換算係数は電気事業者連合会が公表している目標値である「2008～2012年度平均0.34 kg/kWh」を使用しています。

■NTT東日本グループ「アクトグリーン21」

美しい地球を未来に「つなぐ」ために、私たちが果たすべき役割は大変大きいものがあります。「情報通信のリーディングカンパニーとしての責任」と「企業市民としての責任」をはたしていくためには、社員一人ひとりの環境意識を高めていくことが重要です。

NTT東日本千葉グループにおいては、これまで行ってきた職場での取り組みの徹底を図るとともに、社員の環境意識をさらに高めることを目的に「アクトグリーン21」を展開しています。

社員の環境意識を高めて持続的な環境活動を推進していくために、「e c o検定受験」、「地域清掃活動への参画」など様々な取り組みを行ってきました。

特に、2012年度は、生物多様性保全を意識した「水辺クリーンキャンペーン」の実施、生物多様性講習会等を開く等して社員の意識向上を図りました。

これからも、社員一人ひとりの取り組みにつながる各種施策を展開していきます。

全社員が参加する施策

職場での取り組み

- ・マイバッグ利用
- ・エコドライブ
- ・セタライトダウンへの参加
- ・ノー割箸化（会社食堂）
- ・3アップ4ダウン運動（エレベータ利用自粛）
- ・地域清掃活動

会社による支援

- e c o検定推奨

2012年度合格者数 362名

地域社会貢献／協働

- グリーンカーテン活動
- 地域清掃活動を実施
- 生物多様性企業ネットワークへの参加

しくみ

(1) トップによる意識啓発等・・・環境経営に関するトップメッセージを順次発信

(2) 環境デー（毎月5日）、環境月間（毎年6月）

しくみ	考え方	取り組み内容等
環境デー （毎月5日）	継続的運用施策の活性化	◇毎月環境デーを中心とした清掃活動の実施 ◇社内省エネ点検 等
環境月間 （毎年6月）	環境施策を重点的に実施	◇「アクトグリーン21」諸施策の集中展開 ・水辺クリーンキャンペーンの実施 ・環境推進委員による一斉環境点検の実施

(3) 全社員への環境教育による意識向上、知識付与

CSR研修（推進担当者等）、eラーニング（全社員）、等

人と地球のコミュニケーション

環境貢献活動

■水辺クリーンキャンペーン

NTT東日本千葉グループ社員の自然環境保護に対する意識高揚と、地域の美しい自然を守り、地域の皆様が気持ち良く暮せる生活環境作りをめざし、社員等および家族のボランティアによる海岸の清掃活動を実施しています。

2013年6月1日（土）、稲毛海浜公園「いなげの浜」において、NTT東日本千葉グループの社員等および家族457名が参加し、約1kmにわたる海岸に廃棄・漂着したプラスチックやビニールなどの不燃物を拾い集め、クリーンで安全な海岸の再生に取り組みました。



参加企業等

- ・NTT東日本千葉支店 ・NTT東日本一千葉 ・NTT東日本コンシューマ事業推進本部千葉センタ
- ・日本カーソリューションズ ・NTTファシリティーズ中央 ・NTTファイナンス ・NTTインフラネット
- ・NTTME ・NTTMEサービス ・NTTME NWEG事業部 千葉EG部門 ・NTTロジスコ
- ・テルウェル東日本 ・和興エンジニアリング ・池野通建 ・ミライト ・電友会千葉支部 の社員・会員及び家族

■NTT富士見ビル・柏泉町ビル・松戸ビル「緑のカーテン」による緑化活動

NTT富士見ビル、柏泉町ビル、松戸ビルでは、今年も、植物のゴーヤ・朝顔を植え「緑のカーテン」による、緑化活動に取り組みました。

富士見ビルは営業部サービス部門において、2010年に社員から声があがり、省エネ及び節電対策として「緑のカーテン」を自主活動として取り組み、今年で3年目となります。

松戸ビルは、屋上にネットを張り巡らせ、自動給水システム等自作する等、社員のアイデア満載の取り組みをしています。

柏ビルは、駐車場のフェンスを利用した取り組みです。

「緑のカーテン」は、壁や窓をつる性の植物で覆うことで、建物の緑化による景観性の向上と植物の力を利用して温度の上昇を抑え、また周辺の温度を下げる効果もあり、エアコンの使用時間の短縮による電気の使用の低減及び省エネ効果と建物に熱を蓄積させないことによるヒートアイランド緩和の効果が得られ、地球温暖化防止に貢献しています。



■節電/ピークカットの取組み

NTT東日本千葉グループは、電力使用量の多い通信会社としての社会的責任を果たすとともに、地球環境保護に向けた継続的な取組みの観点からピークカット削減とともに総電力量の削減に向け、積極的に節電対策に取り組みました。

○取り組み期間

2013年7月1日～2013年9月30日

チームNTTのコミュニケーション

地域社会への貢献

NTT東日本千葉グループは、地域社会の一員として「良き企業市民」をめざし、自治体や企業等と連携して継続的かつ積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

■地域社会における環境美化活動

NTT東日本千葉グループでは、地域企業等との連携や社員のボランティア活動を通して、地域の美化活動に積極的に参画しています。

●幕張新都心まちづくり協議会

幕張新都心にオフィスを置く企業が、快適な都市環境を形成・保全し、新しいまちづくりを会員が協力して推進することを目的に1990年2月に設立されました。「電波障害部会」「業務地域部会」及び「商業地域部会」で構成され、幕張新都心地区の清掃（年2回）及び国際大通りに設置されているプランターの花苗の移植（年2回）を実施しています。



幕張新都心地区の清掃活動



プランターの花苗の移植

●千葉駅前オフィス町内会

千葉駅前にオフィスを置く事業所が、企業の社会的責任として環境問題を考え、地域社会に貢献することを目的に1992年2月に設立されました。

「環境美化部会」と「古紙回収部会」で構成され、オフィスから排出される紙資源のリサイクル及び千葉駅前大通りの清掃（毎月1回）を実施しています。



千葉駅前オフィス町内会の清掃活動

●地域清掃活動

自治体主催等の清掃活動に各営業所の社員・家族がボランティア参加し、地域美化活動に取り組んでいます。

主な地域清掃活動

自治体	実施日	活動内容
市川市	2012. 5. 27	江戸川クリーン作戦に参加
船橋市	2012. 11. 18	船橋をきれいにする日への参加
柏市	2013. 5. 26	柏駅周辺の清掃
松戸市	2012. 12. 2	新松戸駅周辺の清掃
木更津市	2013. 8. 21	矢那川周辺の清掃

チームNTTのコミュニケーション

地域社会への貢献

■企業消防団活動

NTT東日本千葉グループでは、総務省消防庁が財団法人日本消防協会等と連携して展開する「消防団員入団促進キャンペーン」において、NTT が協力要請を受けたことから、地域社会への貢献活動の一環として、千葉市消防局と連携を図ることを目的に、2009 年4 月、「NTT 企業消防団」を発足し、消防団活動に参加しています。企業消防団としての主な活動は、千葉市消防局が主催する各種訓練、出初式、火災予防運動等へ積極的に参加しています。地域の皆さんが安心・安全で災害のない街づくりに向けて、地域社会へ貢献しています。

□団 員 数：7 名（2013 年1 月末現在）

□活動エリア：千葉市美浜区中瀬地区



千葉市消防団協力事業所

千葉市消防局 交付：2013 年6 月

■NTT 東日本ボランティアギフトプログラムの実施

NTT 東日本ボランティアギフトプログラム（以下「ボランティアギフト」という。）は、社会福祉・自然環境保護・子どもの健全育成の分野で長期に渡ってボランティア活動を継続している社員を対象に、その活動先の施設等に物品を寄贈するというプログラムです。

2012 年度は、小仲台ウィングスへ、野球用具一式を寄贈しました。今後も、ボランティアギフトを通じて、健全な青少年の育成に貢献して行きます。



- 寄贈月日：2013 年3 月2 日
- 寄贈先：小仲台ウィングス
- 寄贈内容：野球用具一式
- 寄贈場所：千葉市稲毛区 なかよし公園
- 該当社員：企画部 事業開発室
新規事業担当主査 山口 益夫

【社員のコメント】

2012 年度ボランティアギフトで野球用具一式（グローブ、バット、ベース、バットケース等）を寄贈して頂き、スタッフ及び保護者一同より御礼申し上げます。

特に子供達の喜びはひとしおのものがあるようで、前にも増して明るい笑顔で練習に励んでおり、ありがとうございました。早速、練習・各種大会にて使用させていただいております。

これからも少年野球を通して、青少年の健全な育成と地域社会の発展に少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

チームNTTのコミュニケーション

地域社会への貢献

■「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」の寄贈

耳や言葉の不自由な方々が、円滑に用件や連絡を伝えることをお手伝いするための2012年版「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」それぞれ約1万部を、千葉県健康福祉部を初め、県内市町村の福祉課や福祉関係機関等へ寄贈いたしました。

「電話お願い手帳」は、耳や言葉の不自由な方々が外出先で電話連絡等を行う際に、用件や連絡先を書いて近くの方に協力をお願いするコミュニケーションツールとしてご利用いただくもので、「私のかわりに電話をかけていただけますか」などのお願いカードや、複数の依頼内容（緊急・お願い・電話）などが掲載されています。この手帳は、昭和58年に千葉県の流山電報電話局（当時）で誕生し、今年で31回目の発行となります。

また、「ふれあい速達便」は、耳や言葉の不自由な方々のコミュニケーション手段として利用が増えているファクスの送信用紙を冊子にしたもので、平成2年に誕生しました。



電話お願い手帳（左）とふれあい速達便（右）

■「NTT東日本千葉 年末チャリティーバザー」の開催

2006年から新たな社会貢献活動として始めたチャリティバザーは2012年で7回目となりました。今回は、2012年12月15日（土）にNTT東日本千葉支店光HOUSE（千葉市）で開催しました。

バザー当日は、市民の皆様にも多数ご来場いただき、前回に引き続き盛況のうちに1,400点のバザー品が売り尽くされました。

なお、当日の収益金145,000円は、福祉活動に役立てていただくため、千葉県社会福祉協議会へ贈呈いたしました。



■校外臨床実習生の受け入れ

千葉県立千葉盲学校では、学習指導要綱にもとづき、理療施術者として資格を取得するために校外臨床実習が必須であることから、近隣（四街道市）企業等に協力を求めていましたが、受入れ期間が長期のため、受入れ可能な企業も少なく受入れ先の選定に苦慮していました。こうした状況から、千葉市内の企業等へも受入れの打診がなされ、NTT東日本千葉グループにおいて、地域社会への貢献活動の一環として、実習生を受け入れることとしました。

2009年に最初の実習生を受け入れてから4年、述べ208名の実習生を受け入れ、理療施術者としての技術の向上と資格取得に貢献しました。具体的には毎週火曜日に、実習生が社員に対して一人30分程度の「あん摩・マッサージ・指圧」等の施術を実施し、技術力の向上を図りながら社員とのコミュニケーションを深めています。

また実習生の丁寧な問診や施術により、社員も安心して施術を受けており、盲学校の実習生とのふれあいを通じて、地域社会貢献活動への意識の向上にもつながっています。

なお、この取り組みは2013年度も継続して実施しています。



チームNTTのコミュニケーション

働く社員の安全・健康増進

NTT東日本千葉グループは、社員一人ひとりの能力を最大限発揮できるよう、安全や健康管理など、さまざまな面から、社員をサポートしています。

誰もが安心して働くことのできる職場環境の充実に取り組んでいます。

■労働安全衛生の水準の向上に寄与する取り組み

●事故「ゼロ」に向けた取り組み

NTT東日本千葉グループは、事故「ゼロ」に向けた安全管理体制の強化に取り組み、だれもが安心して働くことのできる安全な職場環境の充実に取り組んでいます。

2012年度は、特に社員の高齢化に伴う身体能力の低下、自己の運転操作の癖、誤った知識の再認識をさせる事で事故の未然防止を図るとして、運転技術の振り返り講習等を実施し、安全意識の向上に努めました。

□ 活動実績

・新入社員運転実技講習	1コース	51名参加
・階層別運転技術振り返り講習(若手社員及び55才以上の社員)	4コース	94名参加
・バケット車による運転技術の振り返り講習	1コース	36名参加
・運転技術指導者講習	1コース	15名参加

●健康教育の充実による社員の健康・衛生意識の向上

社員の健康管理については、「自らの健康は自らが守る」ことを前提とした健康意識の醸成や安心して働ける健全な職場環境の形成等に向け、職場の実情を踏まえた諸施策を継続的に展開し、社員の健康意識の向上に努めています。

2012年度においても、社員の疾病の未然予防と早期発見を図る観点から、①成人病予防(運動の促進)の実施、②女性を対象とした階層別講習の実施、③55歳節目の年齢を捉えた医療スタッフによる訪問健康相談の実施、④過重労働による健康障害防止対策の徹底、⑤社内外の健康相談窓口の浸透・定着化等を実施しました。

今後も、社員の健康の保持・増進に向け、創意工夫による積極的な取り組みを行ってまいります。

□ 活動実績

・成人病予防(運動の促進)	2コース	2回	182名参加
・女性を対象とした階層別講習の実施	2コース	2回	69名参加
・55歳節目の年齢を捉えた医療スタッフによる訪問健康相談の実施			26名実施

●社員の心の健康を守るためのメンタルヘルス対策について

2012年度については、①職場・健康管理スタッフが一体となったメンタルヘルス問診の実施、②ラーニングプラットフォームを活用した「メンタルヘルス応用講座」の実施、③「NTT東日本グループなんでも相談ダイヤル」の展開および職場・社員への浸透・定着化、④階層別メンタルヘルス講習会(新入社員、中堅社員、転入管理者等、管理者)等を展開しました。今後もメンタルヘルス不調の予防・早期発見・フォローに努めてまいります。

□ 活動実績(階層別メンタルヘルス講習会)

・新入社員	1コース	1回	50名参加
・中堅社員(30歳～40歳)	2コース	2回	71名参加
・転入管理者等	1コース	1回	36名参加
・管理者	1コース	1回	169名参加

●心肺蘇生法(AED操作)の理解習得に向けた取り組み

AEDを使用した心肺蘇生方法を学び、緊急時に対応できる人材の育成を図ることを目的に、「救命救急(AED操作)講習会」を開催しました。

□ 活動実績

7コース	269名参加
------	--------



チームNTTのコミュニケーション

多様性の尊重に向けた取り組み

NTT東日本千葉グループは、多様な人材の活用、多様な働き方の推進が、一人ひとりの能力の最大限の発揮、ひいてはトータルマンパワーの最大化につながっていくとの認識の下、一丸となってダイバーシティ・マネジメントを推進していきます。

■ダイバーシティ・マネジメントの推進

社会の変化に伴い、多様化するお客さまのニーズにお応えしていくには、NTT東日本千葉グループ内にも同様の多様性を形成していくことが重要です。そこで、社員一人ひとりが持つ能力や特性、価値観の違いを尊重し、トータルマンパワーを最大化していくために、2010年7月に「ダイバーシティ推進担当」を発足させました。

ダイバーシティ・マネジメント推進に向け、行動計画の柱として「ダイバーシティ意識の浸透」、「働き方改革の推進」、「社内コミュニケーションの活性化」を策定しました。また、各タスクにダイバーシティ推進の牽引役として推進者とモニターを任命し、ダイバーシティ・マネジメント推進基盤の強化を図るとともに積極的な推進活動を展開していきます。

具体的には、経営幹部からのダイバーシティに関する情報発信（TOPメッセージの配信）、ICTツールを活用した在宅勤務の積極的な推進、TV会議・Web会議による会議の効率化、多様な社員等が参加し相互理解を深める対話会など、多様な人材が活躍できる風土づくりに努めています。

●各種制度の一例

	制 度	概 要
育 児	育児休職	子どもが満3歳になるまで取得可
	短時間勤務	子どもが小学校3年生の年度末までの本人が申請した期間について、1日の勤務時間を4・5・6時間から選択可
	再採用制度	育児に専念するために退職した場合、一定の要件を満たせば選考により再採用が可能
	ライフプラン休暇（育児） *	子どもの養育を目的に、1週間以上の休暇として取得可
	育児支援サービス （カフェテリアメニュー）	ベビーシッター育児支援サービス（子どもの家庭内での保育、保育所等への送迎）の割引券の交付等
介 護	介護休職	最長1年6カ月まで取得可
	短時間勤務	介護休職の期間とあわせて最長3年間、1日の勤務時間を4・5・6時間から選択可
	再採用制度	介護休職後、引き続き介護のために退職した場合、退職後一定期間内に社員として再採用
	介護休暇	家族の介護を目的に、1年度につき5日取得可 （被介護者が2人以上の場合は10日）
	ライフプラン休暇（介護） *	家族の介護を目的に、1週間以上の休暇として取得可

* 勤続年数5年ごとに5日間の休暇が発効され、また失効年休の一部についても積立可能な休暇

■福利厚生

社員が入社してから退職するまでの間、ライフプランやライフスタイルに応じてさまざまな福利厚生メニューが選択できる「カフェテリアプラン（選択型福利厚生制度）」や、社員がライフプランの設計や見直しが行えるよう、節目をとらえた「ライフデザイン研修（3回）」を実施するとともに、「ライフデザイン相談室」も用意しています。

チームNTTのコミュニケーション

社内における業務改善活動

■「カイゼン活動」

NTT東日本千葉グループでは、業務の効率化、生産性の向上、組織間交流や社員のコミュニケーションの活性化を目的として、平成19年度に「カイゼン推進担当」を設置し業務改善活動の活性化を図り、業務の効率化等によるムダ、コスト削減により環境負荷低減に貢献しています。

■カイゼン活動体制

千葉Gカイゼン取組み体制



■活動状況

活動ユニット数 241ユニット

参加社員数 3166名

年間取り組みテーマ件数 455件

改善発表会開催回数 10回



コミュニケーションツールのご紹介

NTT東日本千葉グループでは、安心して働ける職場づくりと地域社会とのより良い関係を構築するために、適切に情報を公開し、社会と企業の相互理解・共感をいかに深めるかは大切な要素と考えます。各種ツールを活用し、社内外との情報の共有を図っています。

■社外向けウェブサイト

NTT東日本千葉支店およびNTT東日本ー千葉のご案内や新しいサービスのお知らせなど、さまざまな情報を提供させていただいています。

- <http://www.ntt-east.co.jp/chiba/>
- <http://www.ntteast-chiba.co.jp/>

[NTT東日本 千葉支店ウェブサイト]



[NTT東日本-千葉ウェブサイト]

■社内コミュニケーションウェブサイト

社内の情報をリアルタイムに共有するため、ウェブイントラサイトを活用、また、業務改善を中心としたサイトや電子新聞を活用するなど、社内におけるコミュニケーションの充実を図っています。

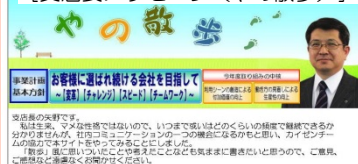
[社内イントラサイト]



[カイゼン推進担当のイントラサイト]



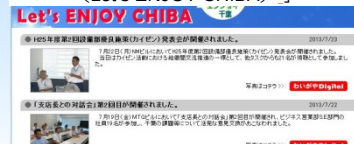
[支店長メッセージ（やの散歩）]



[カイゼン/わいがや新聞]



[千葉グループコミュニケーションサイト (Let's ENJOY CHIBA)]



[ちばTVニュース]



[わいがやDigital]

